

## 38 愛媛県 愛媛県教育研究協議会音楽委員会 (愛教研音楽委員会)

### 《研究の主題および重点》

研究主題 「音楽的な見方・考え方を働かせ、思いや意図をもって音楽活動に取り組む児童生徒の育成」

#### 研究の重点

##### (1) 指導計画の作成

- 学年ごとの指導内容を各題材に明確に位置付け、評価の計画を含めた指導計画を作成する。
- 児童生徒の学習状況を適切に評価することができるよう、題材の指導のねらい、教材の特徴、学習活動等を考慮して評価規準を設定する。

##### (2) 学習指導の改善・充実

- [共通事項]の学習と各領域との関連を図り、児童生徒が知識や技能を得たり生かしたりしながら思考、判断し、音楽を豊かに表現したり鑑賞を深めたりすることができるよう、指導方法を工夫する。
- 音楽づくり・創作と鑑賞の指導の充実に努める。
- 我が国や郷土の(伝統)音楽に愛着をもったり、諸外国の様々な音楽の特徴と多様性を理解したりすることができるよう、指導を工夫する。
- 仲間と共に音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさや美しさを見いだしたりする過程を大切に、協働する喜びや音楽活動の楽しさを体験させるとともに、授業での学びが学校内外での様々な音楽活動とつながり、生活や社会の中の音楽等と豊かに関わっていくことができるよう配慮する。
- 表現及び鑑賞の学習を充実させるために、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図る指導を工夫する。
- 1人1台端末等、ICTを効果的に活用し、児童生徒の関心・意欲を高めたり、理解を深めたりするなど、指導の改善や評価の充実に努める。
- 一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導や支援を工夫する。

##### (3) 評価の工夫・改善

- 児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視し、指導と評価の一体化を図る。
- 指導の目標及び内容と対応した評価規準を設定するとともに、評価方法を工夫し学習評価の妥当性、信頼性等を高めるよう努める。
- 評価補助簿等の活用により形成的な評価を充実させ、題材等のまとまりの中で、指導内容に照らして、評価の場面に適切に位置付ける。
- 児童生徒が自らの学習状況を把握し、自らの学習を調整しながら学習意欲を高めることができるよう、自己評価や相互評価等を工夫する。